

第23回元素化学セミナー・講演会

◆講師◆ University of Bonn (Germany)

Prof. Dr. Alessandro Bismuto



◆日時◆ 令和8年 6月24日 (水)

16:00 ~ 17:30

◆場所◆ 総合研究棟 B 1 1 2 室

◆演題◆

Exploring Heavy Pnictogens: From Low-valent Compounds to Luminescence

Alessandro Bismuto教授は、ドイツ・ボン大学において、典型元素化学と触媒反応開発を融合させた独創的な研究で世界をリードする新進気鋭の化学者です。特にビスマスをはじめとする高周期15族元素の特異な性質を活かした高反応性化学種や光学材料となり得る機能性物質の開拓において、国際的に極めて高い評価を得られています。今回、DAAD-TSUKUBA二国間連携事業の一環として来日した機会に、最新の研究成果についてご講演いただけることになりました。世界最先端の研究を牽引する新進気鋭の教授の独創的な知見に触れ、議論を交わすことのできるこの貴重な機会に、どうぞ奮ってご参加ください。

*この講演会は、「有機化学特論 (FE14131)」 (化学類) の一部になります。

◆問合せ◆ 笹森貴裕 (筑波大学数理物質系化学域・TREMS)
029-853-4412、sasamori@chem.tsukuba.ac.jp